



WEEKLY NEWS

超我の奉仕

和歌山東南ロータリークラブ第2640地区

2005～2006

例会日 水曜日 (第1・第2夜間)
夜間・PM.18:30
水曜日 (第3・第4・第5)
昼間・PM.12:30

例会場 華月殿 和歌山市屋形町2-10
〒640-8227

事務局 和歌山市西汀26 経済センター7F
TEL 073-423-3666
FAX 073-423-7200

http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html
E-mail a-rotary@coral.cypress.ne.jp

国際ロータリーRI会長 カールヴィルヘルム・ステンハマー
国際ロータリー第2640地区ガバナー：平尾 寧章

和歌山東南ロータリー会長 山口幸也
副会長 郷間敏博
副幹事 郷間敏博 竹中昭美
副会計 駒阪純章 土井 潔
副会場監督 西田義昭 土屋一博

幹事 和田達男
会計 楠本聖二
会場監督 駒阪純章
直前会長 中村美之
クラブ会報委員長 中村美之

副委員長 鯨 拓也
委員 井畑順三 片畑宏造
津川善昭

週報
12号

通算第1694



本日の例会

10月5日 (水) 「華月殿」

ロータリーソング 君が代・我等和歌山東南ロータリー
「傍聴裁判解説」 辻本圭三会員

次回の例会

次回10月12日 (水) 「華月殿」

行事予定 外部卓話 寺尾滋子様「楽しく、美しく、健康に」
「プログラム委員会」

先週例会報告

来訪者紹介・

9月28日 (水)

ビジター 和歌山東RC：服部卓也様

SAA駒阪純章



山口会長



第12回会長報告

1. 会長時間 (報告)

先日の夜間例会 (親睦観月家族例会) にはたくさんの出席有難うございました。

親睦委員会の皆様には大変お世話になりました、入浴付観月夜間家族例会とはおしゃレな企画でしたのですがお月さんの方は帰りのバスの中からの観月となりました。(宴会場ではお月さんは見えなかったようです。反対側だったのかな?)

宴会場での盛り上がりは近來にない盛り上がりで親睦会の最たるものであったと思います、今後のクラブ活動・行事等に和気藹々とした、会員全員参加協力による奉仕活動を確信した次第です。

今月は「新世代の為の月間」です、若い方についての気持ちのよい記事を紹介して会長の時間 (報告) とします。

昨日の新聞からですが、私は毎朝6時30分には会社の方へ出勤しますが、朝の早い時間にさわやかになった記事です。記事の内容はビデオショップでビデオを借り、レジの列で順番を待っていた時のことで、その方の前は若い女性で、すぐ済めばすぐに自分の番がすぐ来るだろうと思いつつもなかなか終わらないので、しべれを切らせて隣のスムーズに流れる列に変わろうと思ったのだが、そのまま待つことにしたようです、やっと終わって場を空けてくれ帰ろうとした時、彼女が私に振り向き、にこやかな表情で一礼してくれたそうです、定員とのやり取りも気分のよいやり取りで、又後姿も清楚な感じだったそうです。でも終わればそのまま帰るんだろうと思い込んでいただけに、とても気分がよく、レジでの待ち時間の不満も吹き飛んでしまったと書いておられました。

この記事を読んで思うのですが、何気なく出る挨拶・行動が大事だなと思います、早速私共の朝礼に話をした次第です、このことは子供の頃からの家庭教育や学校での道德教育の大事さを痛感した次第です。

ニコニコ箱



青木君・西田会長さん、おばあさん二人お世話になりました。今後ともよろしく。

山口君・有本様、先日のシャンソンびっくり!

溝落君・I DM、C班 ゴルフコンペで優勝しました。

竹中君・I DM C班の皆様、先日ありがとうございました。

西田君・マージャン同好会多数ご参加、有難う御座いました。



竹中副幹事



「竹中副幹事の報告」

本日、報告は特にございません。例会終了後に定例理事会を開催致します。理事・役員の皆様はお残り下さい。



ロータリー財団

有本君・40周年には多数出席していただいて有難うございました。

溝落君・有本先生40周年おめでとうございます。

坂口君・吉田様、ご苦労さん。

吉田君・青木先生お世話かけましてありがとうございます。

米山記念奨学金

有本君・40周年には多数出席していただいて有難う。

溝落君・昨夜、坂口さん、市川さんありがとうございます。

市川君・米山奨学会 津川さん、フォーラム頑張って!!

竹中君・幹事の代理を務めさせていただきます。

早田君・青少年・ライラ委員長会議、青少年交換委員長会議に出席し少し賢くなりました。

井畑君・坂口さん、ありがとうございます。

津川君・クラブフォーラム 米山記念奨学会卓話させていただきます。

○表彰 「第16回目 米山功労クラブ」

	本日	累計
ニコニコ箱	20,000	666,586
ロータリー財団	35,000	128,200
米山奨学金	63,000	433,000
東南育英会	0	5,000
35周年委員会	0	146,000
合計	118,000	1,378,786

出席者報告 奥村智子委員長

会員総数 37名 免除会員4名・名誉会員1名

◆9月28日 (水) 23名ホームクラブ出席率 69.70%

◆9月14日 (水) 28名 メーカーアップ後出席率 84.85%

～明るく例会楽しい雰囲気づくり～

クラブフォーラム 米山記念奨学会

クラブフォーラム 米山記念奨学会

委員長 津川 善昭

2640地区協議会 2005年5月8日 全日空ゲートタワーホテル
米山部門協議会 (地区の米山奨学生の報告、寄付金の現状お願い)

2640地区米山委員長会議 2005年9月18日 Y M C A 会館

現状報告、寄付金の状況説明

前年度は米山奨学生の受け入れクラブで、カウンセラーをされた土屋委員長は大変ごくろうされました。奨学生の班 文林さんは例会、行事には必ず出席し皆さんと親しくクラブのアイドルのようでした。第3回和歌山県新人演奏会は去る6月12日にオーディションを行い15名の中に選ばれて、9月19日県文にて発表会がありました。このような楽しい実績もあり、当クラブでは皆さんに米山奨学金制度に大変ご理解、ご協力を頂いております。

豆辞典 2640地区76クラブで会員：約2,700名×2万円=5,400万円

米山奨学生：26名×158万円=4,108万円

2640地区では76クラブ 米山奨学生26名 (継続学生5名、新規21名)

時期は32名になり、半数のクラブが受け入れクラブになります。

寄付金 普通寄付金、特別寄付金合わせて、一人¥20,000円

(普通寄付金は上期¥3,000円 下期¥3,000円 徴収)

(特別寄付金は米山記念奨学金BOX任意寄付金)

表彰制度：10万円で第一回 米山功労者

20万～90万円 第2回～第9回 米山功労者マルチプル

100万円～300万円 第10回～第30回 米山功労者メジャードナー

当クラブは35周年の節目の年であり、皆様の米山奨学金累計額を把握し、目標を米山功労者マルチプル8名、メジャードナー1名 クラブ創立記念特別寄付、クラブ表彰も視野に入れて頑張りますのでよろしくお願い致します。



津川義昭委員長

ロータリー財団

和歌山東南ロータリークラブカラオケ同好会のご案内



吉田 遥委員長

ユーモアを交えて、楽しい話をされました。

本年度開催時期[予定]

下記要領にて開催します、皆様のご入会よろしくお願い致します。

- 平成17年10月12日 (水曜・夜間例会終了後)
- 平成17年11月 9日 (水曜・夜間例会終了後)
- 平成18年 1月11日 (水曜・夜間例会終了後)
- 平成18年 2月 8日 (水曜・夜間例会終了後)
- 平成18年 3月 8日 (水曜・夜間例会終了後)
- 平成18年 5月10日 (水曜・夜間例会終了後)
- 平成18年 6月14日 (水曜・夜間例会終了後)

※日程は変更になる場合がございます。
また、参加人数が少ない場合は開催を見合わせる場合がございます。その場合は事前、もしくは当日例会にてご連絡いたします。

開催場所

楠本聖二会員宅 (カラオケルーム) を使用させていただきます。

会 費

入会費；3,000円(年間) 当日参加費：無料



COFFEE BREAK

● 知ってどーなる 知って得か！ お役に立つかわからんコーナー

● 秀吉には、淀君以外には、どんな愛人がいた？

豊臣秀吉は、正妻「ねね」のほか、愛人20人はいたといわれる。織田家の武将だった長浜時代には、すでに「南殿」という愛人がいた、もう一つの居城の姫路城にも愛人を囲っていた。また、播州攻略のさいには、山名豊国の娘・あかね、ついで、岡山城の未亡人のおふくも愛人にしてた。さらに、信長が死ぬと、織田家の女性も三人も愛人にした、信長の弟である信包の娘、信長の次男信雄の娘、「三の丸殿」とよばれた信長の娘も愛人にした。主君の娘さえ愛人にするほどだから、家臣の娘もつぎつぎと愛人にした。たとえば、前田利家の娘、蒲生氏郷の妹も最初は人質にとり、生長を待って愛人にしている。

● なで、江戸城では、たびたび神隠しが起きたか？

江戸城の大奥では、たびたび、”神隠し”が起きた。しかも、行方不明になるのは、男性ばかり、大奥に足を踏み入れたあと、帰ってこなかった男性が何人もいた。といえは怪談話しのようだが、江戸城の”神隠し”は性欲をもてあましたお女中らの仕業だった。もともと、大奥に出入りできる男性は、将軍をのぞけば、医師と僧侶だけ、大奥の女性たちは男性と知り合う機会もなく、性欲をもてあましていた。そこで、修理の職人などがやって来たときは、大勢で襲いかかり、大奥へ引き込んだ。そのなかには、多くの女中にしほり取られるだけ、しほり取られ、死んでしまう人もいたといううわさだ。